

2023年8月吉日

会員各位

日本地域経済学会事務局

日本地域経済学会 第35回 札幌大会：全国大会案内（会報第二報）

本年の全国大会（札幌大会）は、下記のとおり、北海学園大学において対面開催します。コロナ前の通常通りの大会として準備を進め、地域公開シンポジウム、懇親会、エクスカージョンを復活させます。

北海道開催のため飛行機やホテル等の手配の早めの必要性を考慮し、例年よりも早く会報第二報を発行します。ここでは現段階で決定している内容についてご案内します。

大会参加の申し込み方法やプログラム等の確定版は決まり次第、続報にてお知らせします。

■ 第35回札幌大会の概要

日程：2023年11月11日（土）～13日（月）

11月11日（土） 地域公開シンポジウム、総会、懇親会（事前申し込み）

11月12日（日） 自由論題報告、企画セッション
共通論題シンポジウム「人材政策の地域経済学」
自由論題賞授賞式、閉会挨拶

11月13日（月） エクスカージョン（事前申し込み）

大会開催校：北海学園大学

大会実行委員会

委員長：古林英一 企画担当：濱田武士 運営担当：大貝建一 会計担当：藤田知也

大会実行委員会（現地問い合わせ先）：北海学園大学経済学部 濱田武士

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 E-Mail: thamada@hgu.jp

学会事務局：駒澤大学（長山宗広・松本典子・大前智文） E-Mail: chiikikeizai60@gmail.com

*) 大会1週間前の11月4日（土）18:00～Zoom オンラインにて、理事会（新旧合同）を予定しています。

11月11日（土）

■ 地域公開シンポジウム 11月11日（土）13:00～16:30 会場：8号館B41教室

（共催：北海学園大学開発研究所）

テーマ：少子高齢人口減少下の札幌の再開発・経済再生とその可能性

企画趣旨：

人口規模で日本最大の地方中枢都市である札幌市はいよいよ人口減少社会に突入する。他方、オリンピック・パラリンピックの招致については現在慎重な対応を迫られているが、2030年頃に向けて新幹線駅の建設計画や都市中心部の再開発が進められ、またコロナ・パンニックが収束するなかで観光再開発やスタートアップ支援対策などの経済再生対策の動きが強まっている。

本シンポジウムでは、転換期を迎える札幌市の人口動態分析を踏まえつつ、札幌市の再開発・経済再生の動向の確認とその可能性について議論したい。そして、この議論を通じて、札幌は北海道の人口ダムなのか、札幌一極集中から見られる北海道の実像や課題についても考えていきたい。

○ファシリテーター

：高原一隆（北海学園大学 名誉教授）

○報告者

：丸山洋平（札幌市立大学 准教授）

：本宿圭太（一般社団法人 札幌観光協会）

：札幌市スタートアップ支援担当室の適任者

：白鳥健志（元札幌駅前まちづくり会社代表取締役社長）

○コメンテーター 交渉中

■ 総会 11月11日（土）16:40～18:00 会場：8号館 B41 教室

■ 懇親会 11月11日（土）19:00～21:00 会場：オールデイ・ダイニング・ヴェルデ
ANA ホリデイ・イン札幌すすきの2F（札幌市中央区南5条西3丁目7） 会費 5,000 円。

11月12日（日）

■ 自由論題報告、企画セッション 11月12日（日）9:00～12:00 会場：7号館 D31・D40・D42 教室

自由論題報告 第1分科会 会場：7号館 D40 教室 テーマ：観光と地域産業連携 座長： 岩佐和幸（高知大学）	自由論題報告 第2分科会 会場：7号館 D42 教室 テーマ：地域の環境・エネルギー 座長： 多田憲一郎（鳥取大学）	企画セッション 会場：7号館 D31 教室 テーマ：災害の地域経済学における地域のレジリエンスとは ファシリテーター：池島祥文（横浜国立大学）
第1報告 報告者：倪卉（鳥根大学）・章立（鳥根大学） 報告タイトル：コンテンツツーリズムとしてのアニメ聖地巡礼による地域振興の継続性の課題	第1報告 報告者：大平佳男（帝京大学） 報告タイトル：福島イノベーション・コースト構想から見る地域のエネルギー政策に関する分析	報告①：西堀喜久夫（愛知大学・名誉教授） 災害復興政策理念としてのレジリエンス 報告②：山川充夫（福島大学・名誉教授） 創造的復興とレジリエンス—福島イノベーション・コースト構想の事業化から
第2報告 報告者：鄭舜玉（東北文化学園大学） 報告タイトル：地域ブランド形成における成功要因分析—観光と Storytelling を中心に	第2報告 報告者：白石智宙（広島修道大学） 報告タイトル：日本における木質バイオマス発電所の燃料材調達体制の特性分析	報告③：池島祥文（横浜国立大学） サプライチェーン型産業と地域型産業のレジリエンス
第3報告 報告者：小巻泰之（大阪経済大学） 報告タイトル：市町村における定住・移住政策の定量化及び実証的な分析	第3報告 報告者：安部大樹（三重大学） 報告タイトル：三重県中勢地域における発電用木質バイオマス集材の取組み	報告④：千葉昭彦（東北学院大学） 災害レジリエンスと建設業
第4報告 報告者：岡本宗大（立命館大学（院生）） 報告タイトル：製造業の分業構造の変化とその影響—京都府を事例とした地域間産業連関表を用いて	第4報告 報告者：除本理史（大阪公立大学）・林美帆（公益財団法人水島地域環境再生財団） 報告タイトル：公害学習とツーリズムを結びつける試み—岡山県倉敷市水島地区での取り組み事例	報告⑤：初澤敏生（福島大学） レジリエンスとしての産業集積 報告⑥：栗田但馬（立命館大学）・生島和樹（岩手県立大学）・鈴木正貴（岩手県立大学） 三陸における東日本大震災以降の漁協経営と鮭の定置網・ふ化放流事業
第5報告 報告者：五十川龍（元・駒澤大学（院生）） 報告タイトル：リレーションシップバンキングによる起業支援	—————	

*) 自由論題の1つの報告の持ち時間は35分。報告は25分、質疑応答（入れ替え時間含む）は10分。

■ **共通論題シンポジウム** 11月12日(日) 13:00~15:40 会場：7号館D20教室

テーマ：**人材政策の地域経済学**

企画趣旨：

地域社会や地域産業を担う人材の不足が指摘されて久しい。地域の担い手育成・人材政策については、「まち・ひと・しごと創生法」で「地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保」が掲げられているながらも、実際の地方創生政策では、多くの地域でその効果を可視化しやすい移住・定住政策が優先されるなかで、担い手育成や人材の支援策には十分な資源が投入されてこなかった。しかし、地域を持続可能なものとしていくには移住・定住政策だけでなく、人材の育成や定着、仕事づくり、地域企業の後継者・担い手育成、就労支援など、長い時間軸をもって「人材」育成や定着についての仕組みづくりを検討していくことが求められる。地方への人材還流が注目される一方で、地域の担い手育成や支援策について地域発の実践知を踏まえつつ現状と課題を検討したい。

人材環流アプローチ（田園回帰、移住・定住、小さな拠点の担い手）の最新状況を踏まえつつ、多様な主体の担い手（文化、行政、NPO）による地域に根ざした人材育成のあり方、地域人材政策の新展開としての地域労働市場のマッチングシステム（就業支援、雇用政策、技能取得、社会参加の場づくり）、地域産業や中小企業の人材の現状と課題（後継者育成、事業継承、就業支援）などについての各報告から、「人」に着目した地域経済のあり方を議論したい。

○ファシリテーター

：松永桂子（大阪公立大学 准教授）

○報告者

：藤山浩（一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 所長）

：狭間恵三子（大阪商業大学 教授）

：神崎淳子（金沢星稜大学 准教授）

：大貝健二（北海学園大学 教授）

○コメンテーター

：佐無田光（金沢大学 教授）

■ **自由論題賞の授賞式** 11月12日(日) 15:40~15:50 会場：7号館D20教室

奨励賞選考委員会委員長 初澤敏生（福島大学）

■ **開催校挨拶、閉会** 11月12日(日) 15:50~16:00 会場：7号館D20教室

大会実行委員会委員長 古林英一（北海学園大学 教授）

11月13日(月)

■ エクスカーション

テーマ：ニセコ・エリアの観光開発の見学

ニセコ・エリアは過疎化が進む北海道において異質な空間が形成されている。特にニセコ比羅夫地区にはかつてあった本州のスキー客用のペンションがなくなり、高級コンドミニアムが乱立し、ニセコアンヌプリの周辺にはいくつかの有名外資系ホテルが立地するようになった。本企画では、インバウンド観光を考える機会として、ニセコ・エリアの現地見学を行う。

参考文献：『七光星に輝きを ニセコのキセキ・札幌集中のリアル』（北海道新聞社発行、2022年5月）

○スケジュール：(すべてバス移動)

12日(日)の大会終了後、北海学園大学からバスでニセコ・エリアのホテルへ移動

ホテル経営者からのプレゼン・勉強会

13日(月)午前中にニセコ・エリアの見学、昼食後、15時までに新千歳空港・札幌駅へ帰路

○エクスカーションおよび懇親会の申し込み

北海道でのバスチャーターは困難になりつつあり、先々に予約しなければならないため、エクスカーションは早めの申し込みにご協力をお願いします。

エクスカーションの参加費用は、ホテル(2~4人部屋)代金含めて1.5~1.7万円を予定(まだホテルは確定しておらず、料金は現段階の目安です。個室希望の場合はその旨を備考欄にお書き下さい)。

なお、バスチャーター費用は、学会が負担します。

【事前申し込み】

申し込みは、下記、QRコードかURLからお願い致します。

懇親会(11月11日)の事前申し込みについても同様、下記、QRコードかURLからお願い致します。

申し込み締め切りは、いずれも、10月15日まで。

不明な点は、大会実行委員会(担当：濱田武士 thamada@hgu.jp)まで。



<https://forms.gle/CYj4afHUReKvALzT9>

■ 大会会場・交通アクセス、会場案内

【大会会場】 北海学園大学 豊平キャンパス7・8号館 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

【交通アクセス】 <https://www.hgu.jp/about/toyohira-campus.html#access> を参照

<札幌駅から>

地下鉄東豊線「さっぽろ」駅または「大通」駅で福住行きに乗車し、「学園前」駅下車。3番出口直結。

[乗車時間「さっぽろ」駅から6分、「大通」駅から5分]

<新千歳空港から>

JR 快速エアポートに乗車し、「札幌」駅下車。[乗車時間約40分]

地下鉄東豊線「さっぽろ」駅から乗車し、「学園前」駅下車 [乗車時間約7分]



【大会会場】 北海学園大学 豊平キャンパス 7・8号館

<https://www.hgu.jp/about/toyohira-campus.html> を参照



 Wi-Fi 設置箇所



【食事】
北海学園会館1F G'caFe(食堂)

【生協】
北海学園会館2F
G'coN(文具・お菓子・飲み物・日用品)
教育会館2F
サービスカウンター(書籍・旅行・自動車学校)

【金融機関】
6号館地下1F 北洋銀行ATM・ゆうちょ銀行ATM
北海道銀行ATM

【交通】
6号館地下2F 地下鉄東豊線「学園前」駅
3番出入口直結

【懇親会会場】

オールデイ・ダイニング・ヴェルデ (ANA ホリデイ・イン札幌すすきのの2F)

住所：札幌市中央区南5条西3丁目7

札幌市営地下鉄東豊線「豊水すすきの」駅4番出口から徒歩2分

